

## ゆめに向かってあなたは努力していますか？

ねらい 二分の一成人式を迎えるにあたり、自身の生活を振り返り、自分がこれからどのような目標をもって生活していきたいか考え、実行していこうとする態度を養う。

育成したい資質・能力	<b>主体性</b>	・自分のこれまでの生活とこれからの生活について関心をもち、これから自分がどのようなことを目標に努力していきたいかを自分で決め、実践していこうとする。
	<b>思考力</b>	・自分を見つめ直すことを通して自己理解を深め、自分の将来について考えることができる。 ・自分が立てた目標に向かって、どのように努力したらよいか具体的に考えることができる。
	<b>自己理解</b>	・自分のこれまでの生活について振り返り、家族に支えられ、自分のことを応援してくれている人が周りにいることに気付くことができる。

児童の意識の流れ	各教科・領域と道徳科との関連	時期
<p>将来、自分はこんなふうになりたい。みんなにも様々な夢があるんだなあ。</p>	<p>学級活動 (3)-ア 「将来について考えよう」 自分の「将来」について考え、どのような人間になりたいか考える。また、他の人の意見を聞きながら、自己理解並びに他者理解を深める。</p>	11月
<p>自分はこんなに家族に大切にされているんだ。家族も自分も大切にしよう。</p>	<p>道徳科「走れ江ノ電 光の中へ」 D-(1) 生命の尊さ、C-(4) 家族愛 事前に家族の人に、自分の子どもに対する応援や期待の手紙を書いてもらい、家族がいつでも自分のことを応援しているという気持ちを感じ取らせ、自己肯定感を高めたい。本文では「とも君は、とも君のままでいい。」といったお父さんの心情を考えることを通して、生命のかけがえのなさとともに家族の思いを感じ取り、家族も自分も大切にしようとする心情を育てる。</p>	1月
<p>織田幹雄さんはすごい人なんだ。努力することって大変だな。でも、自分も頑張ってみよう。</p>	<p>道徳科「日本人初の金メダリスト」 A-(5) 希望と勇気、努力と強い意志 日本人初の金メダリスト織田幹雄さんがオリンピックに向けて努力し続けた物語から、主体的に取り組むことや振り返ること、継続することの良さや難しさを考えることを通して、将来に向けて自ら努力をしていこうとする道徳的判断力を育成する。 <b>【本時】</b></p>	1月
<p>自分は夢に向かって、こんな努力をしていきたい。</p>	<p>学級活動 (3)-ア 「将来について考えよう」 二分の一成人式において、家族に自分が将来どのような姿になりたいか気持ちを伝える。そのためには、自分がどのような目標を立て、どのように努力していくか考える必要がある。ここでは、自分で取り組むことを決めたり、夢に向かって努力しようとする態度を育てる。</p>	2月
<p>自分の10年後は自分が決めたことをやっているかな。書いたからには努力しよう。</p>	<p>国語科「言葉のタイムカプセル」を残そう <b>【国語科における道徳教育の視点】</b> これまでの10年間を振り返り、今の自分について確かめ、将来の自分へ手紙を書くことを通して、自分で決めた夢や取り組むことさらに強く意識できる態度を養う。</p>	2月
<p>これまでたくさん家族の人や周りの人に支えられてきたんだなあ。ありがとう。これから、自分は夢に向かって、頑張っていきたい。</p>	<p>総合「二分の一成人式をしよう」 <b>【総合における道徳教育の視点】</b> 身の周りの人に感謝の気持ちを伝えるとともに、自分が将来どのようになりたいかを発表することを通して、夢に向かって努力していこうとする態度を養う。</p>	2月

将来の自分を思い描き、目標をもって  
日々の生活に取り組んでいこう！